

平成29年度第2回千葉市下水道事業経営委員会議事録

1 開催日時：平成30年3月23日(金) 午後1時30分～2時30分

2 開催場所：千葉市議会棟第三委員会室

3 出席者

【委員】（五十音順）

泉登茂子委員
川名部芳秋委員
工藤秀明副委員長
佐久間水月委員
袖澤利昭委員
瀧和夫委員長
野中規正委員
細川恒委員
町田有委員

【事務局】

佐藤建設局次長
鈴木下水道管理部長
出山下水道建設部長
岡本下水道経営課長
古山下水道営業課長
慈道下水道維持課長
桜井中央浄化センター所長
古山南部浄化センター所長
鎗田下水道計画課長
高梨下水道計画課担当課長
野村下水道建設課長
屋代下水道再整備課長
今井下水道施設建設課長
山田下水道経営課長補佐
森下水道計画課長補佐

4 議題及び報告事項

(1) 議題

- ①平成30年度下水道事業会計当初予算
- ②部会の設置について

(2) 報告事項

千葉県水道局との上下水道料金徴収一元化の実施について

5 会議経過

(1) 議題

①平成 30 年度下水道事業会計当初予算

【説明】	資料 1 平成 30 年度下水道事業会計当初予算
岡本下水道経営課長	(「1 予算の概要」～「3 予定財務状況」、「5 中長期経営計画の収支見通しの精査」を説明)
鎗田下水道計画課長	(「4 平成 30 年度予算における重点事務事業」を説明)
【質疑応答】	
野中委員	上下水道料金徴収一元化の経費は 7 億 9,731 万円と、下水道使用料の 133 億円に対して大きな割合を占めているが、今後も継続的に支出していくものなのでしょうか。
鈴木下水道管理部長	この経費は、県へ支払う上下水道料金徴収一元化に伴う料金システム開発費等負担金と県水及び市水エリアの上下水道料金徴収事務の委託費になります。システム開発費については平成 29 年度から 33 年度までの 5 年間の支出ですが、徴収事務については、県水エリアは県に委託し、市水エリアは業者に委託しますので、今後も継続的に支出します。
野中委員	下水道施設の点検・補修は、包括的維持管理業務委託の業務内容には含まれず、別に点検や補修に 4 億 4,400 万円かかるということですか。
鈴木下水道管理部長	はい。
町田委員	平成 30 年度の地震対策の予算額が前年度と比べて減少し、地震対策にある程度目途がついたと思われませんが、地震対策が完了すると、耐震化等の整備状況はどうなっているのでしょうか。
出山下水道建設部長	本市では、総延長約 3,700 k m の管渠が布設されていますが、平成 23 年 3 月に東日本大震災が発生し、美浜区において液状化により被害を受けたことを踏まえ、改築更新よりも地震対策に

重点を置いて取り組むこととしました。

国道等の緊急輸送路、京葉道路やJR軌道下等に埋設されている管渠延長 739 kmを耐震化が必要な管渠に位置付け、平成 24 年度から 28 年度にかけて美浜区の耐震化に取り組んできた結果、美浜区内の耐震化率は約 7 割、市域全体での耐震化率は約 50%となっています。今後も順次耐震化を進めていきます。

細川委員

中央浄化センターで現在整備中の高度処理施設が、平成 33 年度以降、供用開始されると、汚水処理費と経費回収率はどのように推移する見込みですか。

岡本下水道経営課長

第 4 期包括的維持管理業務委託では、高度処理施設の維持管理等も含めた業務内容になる予定ですので、現在、使用料対象経費となる汚水処理費は、高度処理施設の供用開始で増加し、経費回収率は、若干低くなっていくものと見込んでいます。

細川委員

中央浄化センターは、処理水の全量に対し高度処理化していくのでしょうか。

出山下水道建設部長

中央浄化センターは 3 系列ありますが、そのうちの 1 系列で高度処理施設の整備を進めており、平成 32 年度末に完成する予定です。

残りの 2 系列は、現在、標準活性汚泥法で処理しておりまして、整備スケジュール等の課題はありますが、こちらも 1 系列毎に高度処理施設を整備していく予定です。

野中委員

東京湾では赤潮が発生し、水質改善されている状況にはないかと思っていますが、千葉市としての窒素及びリン排出量削減の目標はありますか。

出山下水道建設部長

東京湾の海域環境の改善については、関係省庁と東京湾流域の関係地方公共団体で東京湾再生推進会議を設置し、各施策に取り組んでいます。

また、個別の事業計画の上位計画となる、東京湾流域別下水道整備総合計画での長期的な目標に則り、その一環として高度処理施設を整備しています。

他方、リンは貴重な資源であり、処理水や汚泥に含まれるリ

ンを回収し有効活用できれば、本市の下水道経営にも寄与できることから、平成30年度は、リンの回収事業手法の検討するための予算を計上するなど、下水道事業を総合的に効率よく運営していくことを目指しています。

②部会の設置について

【説明】
岡本下水道経営課長

資料2 部会の設置について
(説明)

【質疑応答】
川名部委員

第4期ということで、現在は第3期目の5年間の包括的維持管理業務の民間委託が行われているということですか。

鈴木下水道管理部長

はい。

川名部委員

包括的維持管理業務委託を総合評価一般競争入札に付することですが、地方自治法施行令第167条の10の2第1項の条文にある、当該契約がその性質又は目的からという部分で、この業務委託においては、どういう理由からなのでしょうか。

岡本下水道経営課長

原則は一般競争入札で、予定価格と最低制限価格の範囲内で最低の入札金額で応札した者が落札者に決定されます。

今回の処理場の維持管理業務は、維持管理の他に水質基準等、市からより厳しい要求水準を定めこれを達成する業務も含まれます。金額とあらかじめ定められた仕様だけで民間委託を行うと、民間企業の創意工夫やノウハウを活かされないことや業務の改善や維持管理の効率化が進みにくいこと等から、性能発注方式により民間委託を行うこととしています。

瀧委員長

リンの回収事業と包括的維持管理業務には関連性があるのでしょうか。

出山下水道建設部長

リン回収事業の施設の他、今後新設する施設については、現時点では、官民連携の取り組みとしてPFI等を想定していま

す。平成 30 年度に行うリン回収事業手法の検討の結果、方向性が変わる可能性もありますが、基本的には包括的維持管理業務とは別に運営等していく予定です。

瀧委員長

では、この包括的維持管理業務委託審議部会を設置してよろしいでしょうか。異議がないようですので、部会を設置することに決定します。

(2) 報告事項 千葉県水道局との上下水道料金徴収一元化の実施について

【説明】

資料 千葉県水道局との上下水道料金徴収一元化の実施について（報告）

古山下水道営業課長

（説明）

【質疑応答】

川名部委員

市民等からはどのような内容の問い合わせがありましたか。

古山下水道営業課長

3点ありまして、1点目は、上水道の利用がなく井戸水のみで使用されている方は、下水道使用料のみお支払いいただくのですが、納入通知書は、本市からではなく県水道局から送付されますので、正しい請求なのかという問い合わせ。

2点目は、徴収一元化する前まで下水道使用料を口座振替でお支払いいただいていた方に関して、本市と金融機関と使用者の方との三者契約であったものが、徴収一元化後は、県で徴収事務を行いますので、改めて口座振替の手続きを行っていただく必要がありました。そのため、初回のみ納付書でお支払いいただかないといけないことから、その内容に関する問い合わせがありました。

3点目は、平成 30 年 1 月請求分の納入通知書の発送が 1 月 30 日、2 月請求分の納入通知書の発送が 2 月 1 日、2 日であったため、同じ週に納入通知書が 2 度発送されたことから、問い合わせ等で、県水お客様センターの電話が通じにくいといった苦情がございました。

瀧委員長

質問等ないようですので、本日の委員会をこれで終了します。

了